

分野	主要課題	事業活動名	主要取組	具体的取組	2024年度指標	<2024年度評価>	関連するSDGsターゲット及びビジネスアクション
環境E	循環型社会の実現	工事施工	①資源利用の効率化	【石材使用全現場】 資源利用の効率化による環境負荷の軽減 ・資源の枯渇に対する石材(新材)ロス率の低減	【石材使用全現場】 石材(新材)のロス率の低減	石材のロス率は目標を上回り未達成となりました。	8.4: 資源効率を斬進的に改善させ、経済成長と環境悪化の分断を図る ○バリューチェーン全体で資源利用の効率化を図り、環境負荷の軽減に取り組んでいる
		設計・技術開発業務	②環境配慮設計・提案	【土木技術部】 環境に配慮した設計を行う(インフラ長寿命化) ・民間護岸・岸壁等の維持修繕計画立案 ・維持・修繕計画に則った調査工実施	【土木技術部】 民間護岸・岸壁等の維持修繕計画検討及び計画書に則った調査工実施(護岸・岸壁の長寿命化)	環境配慮設計の実施について目標を達成しました。	12.5: リデュース、リユース、リサイクルを通じて廃棄物の発生を減らす ○製品の長寿命化、最適な再利用、リサイクルを可能にする循環型ビジネスモデルを構築している。 14.2: 海洋・沿岸の生態系の回復 ○自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している 15.1: 陸域・内陸淡水生態系及びそのサービスの保全・回復・持続可能な利用を確保する。 ○生物多様性の保全や、これに関連する活動を、企業の目標や方針に統合している。
		機材部業務(奈良輪基地)	③環境リスクへの対応	【機材部】 奈良輪基地における廃棄物削減とスクラップによる再資源化の推進 ・廃棄物の有価物化によりコストの低減を図る。	【機材部】 産業廃棄物処分コストの低減	産業廃棄物の削減と有価物化により目標を達成しました。	12.5: リデュース、リユース、リサイクルを通じて廃棄物の発生を減らす ○工場における資源利用の削減、資源の再利用、再資源化を進めている。
	自然共生社会の実現	地盤改良技術	④環境や地域に配慮した施工	【技術事業本部】 陸上における無振動・低騒音を実現した環境に配慮した静的締固め砂杭工法(KS-EGG工法)による地盤改良技術を展開	【技術事業本部】 KS-EGG機の年間稼働日数の増	EGG機の稼働日数は目標を下回りました。	9.4: 資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大により持続可能性を向上させる。 ○製品設計、材料の再利用、製造プロセスの改善などを通じて、環境に優しい技術の開発と普及を支援している。
		自社開発技術	⑤環境配慮型施工技術の促進	【技術事業本部】 あおみ建設技術開発工法『水底土砂ポンプ浚渫工法』を活かした営業展開により城のお堀の堆積物除去(浚渫)と水質浄化の施工推進により土壌改善と生態系保全に寄与する。	【技術事業本部】 環境配慮型浚渫工法によりお堀の水質等環境改善に取り組む	水底土砂ポンプ浚渫工法によりお堀の水質等環境改善に取り組みました。	15.1: 陸域・内陸淡水生態系及びそのサービスの保全・回復・持続可能な利用を確保する。 ○土壌の浄化と修復、生息地の保護と復元、生態系保全などに取り組んでいる。
社会S	地域の発展・地域活性化への貢献	農業ビジネス	⑥地域貢献活動・地域活性化推進	【経営企画室】 将来的な成長産業としての農業ビジネスへの参画により、国内農業の発展と社会貢献を図るとともに、地方公共団体との農業連携により地域貢献・地域活性化に貢献する。 ・地域貢献・地域活性化推進として耕作放棄地である水田を集約畑地化改善し上記ビジョンを達成する。		※農業ビジネスについては、合併会社の事由により事業を撤退したため、本取り組みについては2024年度以降は取り止めております。	2.4: 持続可能な食料生産システムを確保し、強靱な農業を実践する。 ○食品の生産、保全及び分配方法の改善に努めている。 9.2: 雇用とGDPに占める産業セクターの割合を増やす ○雇用の創出、環境及び社会問題の統合など、開発課題に取り組むうえで革新的なソリューションを提供している 17.16: 持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する ○地場企業を育成し、彼らをグローバル・バリューチェーンに統合するよう支援している
	安全/健康な職場	労働安全衛生	⑦安全衛生に対する社員意識の向上	【安全環境部】 各年度に立案する『安全衛生目標』達成への取り組み推進による安全衛生に対する社員意識の向上	【安全環境部】 1)・2) 災害発生ゼロ 3) 健康診断における有所見率の低減	1)・2) 労働災害の発生により目標は未達となりました。 3) 健康診断での有所見率は目標を達成しました。	8.8: (移住労働者などすべての)労働者の権利を保護し、安全・安心に働けるようにする。 ○作業中の事故などを防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている
	ワークライフバランス	働き方改革	⑧働き方改革の推進	【土木部】 現場へのDX活用の取り組み推進による生産性向上での労働時間削減 ・R6年度モデル現場にて試行し、R7年度より全現場にて運用する。ソフト・システムの統一を図る。	【土木部】 DX推進モデル工事の選定・運用	DX推進現場の選定・運用について、目標を達成しました。	8.8: (移住労働者などすべての)労働者の権利を保護し、安全・安心に働けるようにする。 ○労働基準法などの改正内容を理解し、長時間労働是正のための労働生産性の改善、労働時間管理体制、多様な働き方を許容する勤務体制の整備・対応を行っている。
ガバナンスG	ハラスメント防止・倫理的行動の徹底	ハラスメント研修	⑨社員への違法意識の浸透	【人事部】 外部講師による講習実施及びハラスメント窓口設置による社員への違法意識の浸透 ・外部講師によるハラスメント講習の実施 ・職場におけるハラスメントに関する相談(苦情を含む)窓口設置	【人事部】 ・ハラスメントに係るアンケートの回収率及び研修への参加率の向上	ハラスメントに係る研修等について目標を達成しました。	16.1: 暴力及び暴力に関連する死亡率を減らす ○職場内の暴力、差別、嫌がらせに関する方針を内部で作成し、施行している(例: ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記。ハラスメント研修を実施。ハラスメント相談窓口を設置)